

札幌学院大学

- 大学 院
- 商 学 部
- 経 済 学 部
- 人 文 学 部
- 法 学 部
- 社 会 情 報 学 部
- 商 学 部 第 二 部

Sapporo Gakuin University

学園広報

1995. 7. 1 No.61

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室
〒069 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111

大学院新設される

法学研究科(修士課程)4月開設



第1回ガイダンスに臨む大学院生たち(窓側)



初代法学研究科長
山島 正男教授

本学は、昨年十一月に大学院法学研究科法学専攻修士課程の設置認可を文部大臣に申請して、四月十六日付をもって認可を受け、四月

高度な教育研究を推進

当研究科は、入学定員十名、収容定員二十名で、既設の法学部を基礎に、①高度な専門知識・能力を持つ職業人の養成、②地域社会に貢献できる

一日に道内私大では、二校目の法学系大学院として開設いたしました。

人材の養成 ③国際的視野を有する人材の養成を目的としており、初代の研究科長には、

山島正男教授が就任いたしました。本学初の院生となった十名(男性六名、女性四名)は、当研究科の特色の一つでもある専

1,337名が仲間入り

四月四日午後時から、北海道厚生年金会館大ホールにおいて、来賓、父母のご出席をいただき、平成7年度の入学式が盛大に挙行された。

よむいそ新入生

平成7年度入学式



学長 杉本 正

さらなる時代の扉をひらけ

大学の中で最も多彩な内容を誇るものとなります。この多彩さを今後どのように大学運営の中に生かしていくかで、本学の真価が問わ

の札幌文科専門学院が掲げた「学問の自由」「独創的研究」をもった社会人として成長してほしいと訴えましたが、本学も来年創立五十周年を迎えます。私たちが戦後五十年の

北東側に、E館(教室棟)F館(学生会館)そしてG館(厚生会館)が建設されます。特にG館の最上階からは、広大な石狩野の彼方遠くに日本海を

さらなる時代の扉をひらけ。言葉に、二「中身の大切さ」と、これま十一世紀に、この大学の充実発展は、本向けてはば、学教職員の燃える向上の意欲と、学園にかかわる多くの方々、理事、評議員、後援会、同窓生等々の温かい協力の賜物にほかなら

本学は、この四月に発足した大学院法学研究科に、既存の昼夜六学部七学科を加えますと、その教学体制は北海道における文系私立

大学へと連続して受け継がれ、それが学園発展の原動力となっていると述べました。また、戦後五十年という歴史の節目の年に入学する学生らなる時代の扉をひらけを合

検証・総括の中から次の時代の目標を確立すると同様に、札幌学院大学もこれまでの五十年の歩みを点検・評価して、「さらなる時代の扉をひらけ」を合

さらなる時代の扉をひらけ

札幌学院大学 創立50周年

《シンボルマークの作成意図》

50年にわたる教育研究条件の整備によって、社会に貢献しうる人材を送り出してきた本学の歴史と今後の更なる展開を表現しています。

- ・樹木とその先端は広大な原始林を背景にその将来に向けた「発展」(伸長と伸展)を表現しています。
- ・「50」は年輪を表現し、50年の歴史と実績を踏まえ将来への発展(充実)を表現しています。

フレーズ・シンボルマーク決定

本学では創立五十周年を迎えるにあたり様々な記念事業を企画しておりますが、この度その一環として「統一テーマ(フレーズ)及び「シンボルマーク」が決定いたしました。

これらは、昨年度に公募を

①フレーズ
橋本一俊氏(同窓生)

②シンボルマーク
斎藤和郎氏(本学職員)

新厚生施設等の建設始まる
創立五十周年記念のメイン事業

新校舎の起工式行われる

起工式で鋤入れする山本理事長

起工式には、本学から山本理事長、杉本正学長、理事・関係役職者、同窓会、後援会、市内の代表らが出席、又設計監理にあたる北海道建設設計の代表、工事を担当する大林組、三井建設ら関係業者の代表八十名が出席し、工事の無事を祈念いたしました。

キャンパス見学会

受験生・父母の皆さん、SGUをじかに見つめてみませんか？
お気軽にお越し下さい。

内容：入試・学生生活等各種個別相談コーナー、施設見学、その他

第1回 9月2日(土) 14:00~

第2回 10月8日(日) 13:00~
(大学祭開催期間中)

山晴一君が「天学」という場所を自分から求めていかねば何と返すことはない。そのかわり、自分がしたいことを実行に移す条件は兼ね備えた場所であるということを中心に残して、自分が頂ければ幸いに思っています。

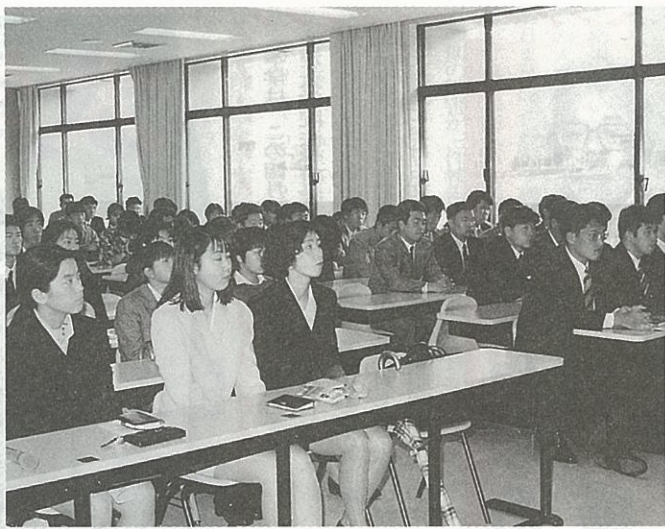
す」と歓迎の言葉を述べた。

また、新入生を代表して、商学部第一部商学科の茶谷文毅君が「大学」というのは高等学校とは違い、ただ教師に教えられることを受けて止めていくのではなく、自分の意志によって四年間の生き方が変わっていくということ、私達人ひとりがしっかりとした目的意識と学生としての自覚をもつことが必要ですと決意を述べた。最後に吹奏楽団の演奏で校歌を斉唱し、式は滞りなく終了した。

平成8年度 入学試験日程

一般入学試験	学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
一般入学試験	人文学部人間科学科	1月8日(月)~ 1月20日(土)	2月7日(水)	本青仙東大	2月24日(土)	3月4日(月)
	商学部第二部商学科		2月8日(木)			
	法学部法律学科		2月9日(金)			
	経済学部経済学科		2月10日(土)			
	人文学部英語英米文学科		2月11日(日)			
	商学部第一部商学科		2月11日(日)			
一般入学試験	社会情報学部社会情報学科	2月26日(月)~ 3月2日(土)	3月6日(水)	本学	3月9日(土)	3月18日(月)
	商学部第二部商学科(第二期試験)		3月6日(水)			
推薦入学試験	学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
推薦入学試験	商学部第一部商学科	11月2日(木)~ 11月13日(月)	11月27日(月)	本青東	12月9日(土)	12月19日(火)
	人文学部英語英米文学科					
	法学部法律学科					
	商学部第二部商学科					
推薦入学試験	経済学部経済学科	11月28日(火)	11月28日(火)	学森京	12月9日(土)	12月19日(火)
	人文学部人間科学科					
推薦入学試験	社会情報学部社会情報学科	11月28日(火)	11月28日(火)	学森京	12月9日(土)	12月19日(火)
	社会情報学部社会情報学科					
特別入学試験・外国人留学生試験	学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
特別入学試験・外国人留学生試験	法学部法律学科	11月2日(木)~ 11月13日(月)	11月27日(月)	本青東	12月9日(土)	12月19日(火)
	商学部第二部商学科					
特別入学試験・外国人留学生試験	人文学部人間科学科	11月28日(火)	11月28日(火)	学森京	12月9日(土)	12月19日(火)
	社会情報学部社会情報学科					
特別入学試験・外国人留学生試験	全学部全学科	12月11日(月)~ 12月20日(水)	1月25日(木)	本学	1月30日(火)	2月13日(火)
	(商学部第二部商学科を除く)					

'95就職戦線 出口見えぬ氷河期 柔軟な企業選択を



長引いた不況のため今年大卒を卒業した学生の就職内定率は、文部省統計によると九一・五%、男女別では、男子九三・五%、女子八六・三%となっている。北海道・東北地区に限定すると八九・五%とさらに低い内定率であった。

大学、短大を卒業する就職希望学生のうち約七二・二%が就職内定ということになる。本学では、三月末時点で九四・六%、男女別では男子九五・九%、女子八六・四%であり、学生諸君が大いに健闘することが読み取れる。

平成七年度の就職戦線は早くも活発化し、合同企業説明会、企業セミナー等も頻りに開催されている。今年も景気回復の兆しもあり、就職環境も多少良くなると思われたが三年続きの不況に加え、一月の阪神大震災、三月からの急激な円高等の影響もあり「就職氷河期」といわれた前年より好転する材料は見当たらない。

こうした状況に対処するため就職課では、昨年七月以来四年次の新学期開始までに、五回のガイダンス、一回の個人面談、業界研究会、就職特別講座等を開催、更に筆記試験を座席する企業が増える傾向がみられるのに対応し「SPI・小論文講座」「就職総合テスト」「模擬テスト」等を実施した。また、今年度は昨年より五千社増の約一万二千社に求人票を発送した。激減した昨年の求

人件数に対処したものが求人申し込みは今のところ昨年並であり懸念材料の一つである。学生は、昨年未帰国から就職情報誌等を参考に、資料請求、企業研究を開始、四月以降は学内の特別講座、学外の企業OB訪問など積極的な動きを見せているが、一部には採用に結び付くと思われるペーパーテストや面接を実施している企業もあり、二、三、四、五月の動きがヤマとなる。企業の中には不況時の今こそ人材獲得のチャンスととらえているところもあり、将来性に富んだ中堅、中小企業を選択する柔軟な思考や当面の勤務地にとられない前向きな行動が必要で、個々が企業に対して、いかに積極的な接触を続けるかが決め手になってくる。

交通事故の防止に 迷惑駐車 父母のご協力を

本学では毎年四月のガイダンスや交通安全講習会等で、交通事故の防止について指導を行っておりますが、今年に入ってから本学学生の運転中の死亡交通事故が二件発生し、若くして命を失っており、全国的にも若年者運転者(大学生を含む)の交通事故が増加しており、北海道は交通事故死三年連続ワースト一位となり、スピードの出過ぎによる若者の死亡交通事故は後を断ちません。

運転免許を取得し自動車、一輪車を運転する学生については、ご家庭からも安全運転(特に「スピードダウンの励行」)について、指導下さいませようお願い申し上げます。

また、ご承知の通り本学では学生の車両通学(特別許可者を除き)を全面的に禁止し、公共交通機関を利用して通学することになっております。しかしながら、一部の学生が車中で通学し大学周辺の路上に迷惑駐車を繰り返す、近隣住民からの苦情が後を断たない現状にあります。

特に、大学近隣の住宅前、店舗、公共施設等の駐車場に無断で長時間駐車する悪質な迷惑駐車も増えており、住民の生活権を脅かしております。本学では自治会等の地域諸団体と協力して、迷惑駐車がなくなる試験期には警備員を配置し、指導を行っておりますが、一向に減る気配がありません。このような事態を憂慮し、注意警報にも拘わらず迷惑駐車を繰り返す学生については断固たる「処置」で臨まざるを得ません。「父母におかれましては、車両通学の禁止と迷惑駐車の防止について、重ねて指導下さいませようお願い申し上げます。」

教職員人事

◎任命 (平成七年四月一日付)

学長 杉本 正 教授 新任

人文学部長 酒井 恵真 教授 再任

商学部長 蔵田 親義 教授 新任

経済学部長 三好 宏二 教授 新任

社会情報学部長 狩野 陽 教授 新任

大学院法学研究科長 山田 正男 教授 新任

教務部長 杉山 吉弘 教授 新任

学生部長 船津 功 教授 新任

就職部長 土井 亮二 講師 新任

広報人試部長 稲村 勲 教授 新任

図書部長 宇田 一明 教授 新任

電子計算機センター長 是永 純弘 教授 新任

◎採用 (平成七年四月一日付)

岩城 禮三 教授 新任

W.Piercy Steven 講師 新任

James D.Tario 講師 新任

石井 和平 助教授 新任

金 明哲 助教授 新任

伊東 隆義 教授 新任

鹿内 万敬 総務部長 新任

阿部 清昭 事務局長 兼任財務部長 新任

◎異動 (平成七年四月一日付)

新國三三 助教授

小内 純子 助教授

森田 彦 助教授

松本伊智朗 助教授

原田 融 助教授

◎退職 (平成七年三月三十一日付)

小泉 良夫 (教授)

松井 安信 (教授)

佐藤 啓治 (教授)

小西 雅彦 (教授)

田中 二郎 (教授)

伊藤 守 (教授)

横山 純一 (助教授)

本間 徹夫 (講師)

Ocean S. Singari (講師)

Thomas J. Thoman (講師)

奥野 信夫 (総務課付参事)

千葉 信 (学生部就職課)

千葉 慶悦 (学生部学生課)

梅田 英雄 (学生部入試課)

太田 廣 (教務部教務課)

消費収支計算書 (単位千円)

	平成6年度決算	平成7年度予算
学生納付金	4,067,073	4,254,100
手数料	397,037	375,700
寄付金	40,214	60,300
補助金	345,996	380,000
(内経常費補助金)	(330,578)	(366,000)
資産運用収入	200,700	112,000
資産売却差額	19,810	14,500
事業収入	0	0
雑収入	59,841	26,900
帰属収入合計	5,130,671	5,223,500
基本金組入額合計	△1,167,713	△1,138,200
消費収入の部合計(ア)	3,962,958	4,085,300
人件費	2,601,420	2,637,100
(内退職給付引当金繰入額)	(141,185)	(120,000)
教育研究経費	953,086	1,066,000
(内減価償却額)	(313,474)	(286,500)
管理経費	203,369	220,000
(内減価償却額)	(3,779)	(4,400)
借入金等利息	80,987	70,715
資産処分差額	22,460	24,000
徴収不能引当金繰入額	329	1,000
予備	-	62,000
消費支出の部合計(イ)	3,861,651	4,080,815
消費収入超過額(黒字)又は消費支出超過額(赤字)(ア-イ)	101,307	4,485
翌年度繰越消費収入超過額	574,022	578,507

貸借対照表 (単位千円)

	本年度末	前年度末	増減
固定資産	13,542,360	12,372,331	1,172,029
有形固定資産	7,709,125	7,562,745	146,380
その他の固定資産	5,833,235	4,809,586	1,023,649
流動資産	4,282,128	4,145,797	136,331
資産の部合計	17,824,488	16,518,128	1,306,360
負債の部			
固定負債	2,218,316	2,278,822	△ 60,506
流動負債	1,131,650	1,033,804	97,846
負債の部合計	3,349,966	3,312,626	37,340
基本金及び消費収支差額の部			
基本金	13,900,500	12,732,787	1,167,713
消費収支差額	574,022	472,715	101,307
小計	14,474,522	13,205,502	1,269,020
負債の部・基本金及び消費収支差額の部合計	17,824,488	16,518,128	1,306,360

大学の改革と発展に向けて

学校法人札幌学院大学の「平成6年度決算」ならびに「平成7年度予算」が理事会で承認されました。その概要は次のとおりです。

平成6年度決算の概要

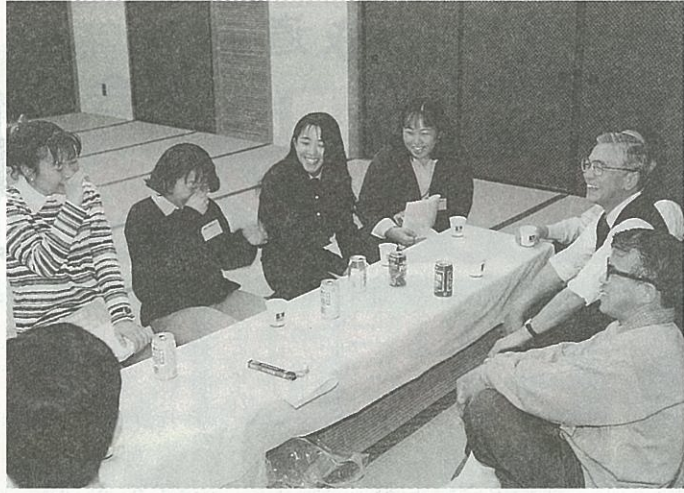
平成6年度事業計画の中心課題は、十八歳人口の急減など経済社会の国際的規模での変革に対応するため、一般教育の改革や大学院の設置など、大学の改革と発展に関わる「諸課題の解決を軌道に乗せる」ことに置かれました。事業計画の実施状況は、大学院設置認可、自己点検・自己評価の公表、厚生施設設計の入札の完了及び懸案であった給与検討委員会の発足などに見られるように、課題の解決を着実に軌道に乗せたことになりました。

平成7年度予算における主要事業

1. 教育の基盤整備と充実
 - (1) シラバス作成
 - (2) セミナール補助・調査実習補助の改善
 - (3) 学習活動を高める教育機器・教材等の整備
2. 研究促進
 - (1) 国外出張補助の改善
 - (2) 大学選書の出版、学会論集の発行
 - (3) 特別研究機器図書・私大設備機器図書補助への対応
3. 図書・資料等の充実と図書館の計画的整備
 - (1) 経常図書、経常資料、外国雑誌、国内雑誌等の充実
 - (2) 書庫の増設
 - (3) 図書館入退館システムの更新
4. 情報関連機器等の整備と教育・事務システム開発の推進
 - (1) 情報化マスタープランの策定
 - (2) O.A化の推進
 - (3) 就職支援システムの充実
5. 学生の課外活動等の活性化を図るための学園後援会・同窓会からの援助
 - (1) 企業特別対策を継続して実施
 - (2) 大学と業との就職懇談会の開催
 - (3) 就職開拓の推進
6. 学生の出口対策の充実
 - (1) 企業特別対策を継続して実施
 - (2) 大学と業との就職懇談会の開催
 - (3) 就職開拓の推進
7. 学生生活の活性化と福利厚生への充実
 - (1) 学生諸団体への援助
 - (2) 課外活動、学生指導への支援
 - (3) 学生事故防止対策
8. 広報活動の活性化と地域連携強化
 - (1) 学術講演会、市民講座(旭川、帯広)の開催
 - (2) 文京府地区イベントの開催
 - (3) 高等学校PTA研修視察への対応
9. 施設設備の整備
 - (1) 厚生施設の建設
 - (2) 既存施設・設備の補修整備
 - (3) 創立50周年記念事業の準備
10. 学園充実計画等
 - (1) 国際交流の調査及び推進
 - (2) 大学充実発展計画に伴う調査
 - (3) 創立50周年記念事業の準備

笑顔で交流の2日間

新入生合宿オリエンテーション



素顔の先生方とひざを交えて=教員と語るコーナー

平成七年度の新入生合宿オリエンテーション(以下「合宿オリ」)は、ガイダンスとの一層の連携を図ることを目的に、従来の日程を変更し、新入生ガイダンスの二日目(四月六日)の午後から一泊二日で実施しました。

今年も定山温泉のホテルを会場に、新入生一、二七六名、先輩補助学生二五六名、教職員八五名、計一、五七七名が参加しました。

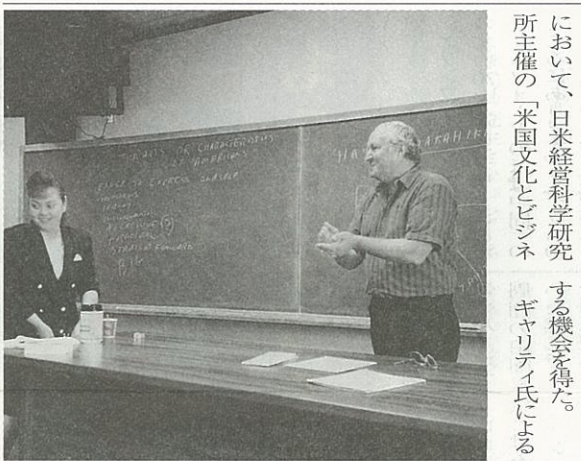
この「合宿オリ」は、一九八〇(昭和五十五年)に商学部の新入生を対象に実施して以来

今年で通算十六回を迎えました。「合宿オリ」への取り組みは、昨年十二月に各学部に行方委員会(教職員・補助学生)を組織し、企画の検討から実施までの準備を先輩補助学生の力を借りて行っており、

「合宿オリ」の二日間に教職員、補助学生と新入生が様々な企画を通して交流を深め、「新入生の仲間づくり、大学生活への不安の解消を図ること」は、その後の大学生活を送る上で大きな役割を果たしています。

新入生に実施したアンケート結果でも、多くの学生が「友人が出来て、大学生活の不安が無くなった」と答えており、全国的にも広がりました。

「合宿オリ」の内容を充実させ、今後も全学行事として継続して行きたいと考えております。



「米国文化と移民」のテーマで講義を行うグァグリアーノ博士(右)

職員海外研修 米国文化とビジネス行動

一月六日(土)ハワイ「米文化とビジネス行動」というセミナーに参加。学務課 西崎 円吉

「米文化と移民」のテーマで講義を行うグァグリアーノ博士(右)の講義の最後には質問を受け付けることにはあるが、講義の途中に行うことは講師に対して失礼と考えられるため通常採用されない。講義の中で実際に幾度か質問・意見が生まれ、その意見の交換により講義がより深められたようである。アメリカの大学の講義やゼミの姿を感じさせるものであった。

また、ハワイ電力会社の視察の説明では、製造業の企業「比較」及びグァグリアーノ博士による「米文化と移民」というテーマの講義を三時間ずつ受講し、ハワイ電力会社の視察を行った。

このセミナーでは、講師から講義の最初にいつも質問・意見を受け付けるという説明があった。講義の最後には質問を受け付けることにはあるが、講義の途中に行うことは講師に対して失礼と考えられるため通常採用されない。講義の中で実際に幾度か質問・意見が生まれ、その意見の交換により講義がより深められたようである。アメリカの大学の講義やゼミの姿を感じさせるものであった。

また、ハワイ電力会社の視察の説明では、製造業の企業「比較」及びグァグリアーノ博士による「米文化と移民」というテーマの講義を三時間ずつ受講し、ハワイ電力会社の視察を行った。

このセミナーでは、講師から講義の最初にいつも質問・意見を受け付けるという説明があった。講義の最後には質問を受け付けることにはあるが、講義の途中に行うことは講師に対して失礼と考えられるため通常採用されない。講義の中で実際に幾度か質問・意見が生まれ、その意見の交換により講義がより深められたようである。アメリカの大学の講義やゼミの姿を感じさせるものであった。

本報告書は、教育活動、研究活動、学生生活実態等内の全般にわたって、客観的に点検・評価を行ったもので、総頁は三二頁に及んでいます。

本学では、この二月に「札幌学院大学の現状と課題」自己点検・評価報告書」を発行いたしました。

近年、教育研究水準の維持・向上に対する個々の大学の姿勢が強く問われている中、この報告書が果たす役割は大きいものがあると言えます。

本報告書は、教育活動、研究活動、学生生活実態等内の全般にわたって、客観的に点検・評価を行ったもので、総頁は三二頁に及んでいます。

本学では、この二月に「札幌学院大学の現状と課題」自己点検・評価報告書」を発行いたしました。

近年、教育研究水準の維持・向上に対する個々の大学の姿勢が強く問われている中、この報告書が果たす役割は大きいものがあると言えます。

平成7年度入試結果 東北地方の志願者増える

私立大入試の全国的状況
平成七年度私立大学における一般入試志願状況は、三年連続減少となった。予備校調査の速報値(以下の数値は同一調査によれば、私立の総志願者数は対前年比五・三%減となり、センター試験志願者の

四・九%増但し、国公立大学の確率志願者数は約九千人減と対照的な結果となった。学部系統別の状況は、景気後退等による受験生の「文低理高」指向が事前から喧伝されていた通り、対前年指数は文系学部にあつては文・人文・教養系統の九四・八を除き軒並み平均値(九四・七)を下回った。

平成七年度本学入試の特徴
本学の平成七年度志願者総数は二、一九九人(社会人・外国人留学生含む)、五年連続道内大学中最大となったが、対前年比一、三三五人(九・三%)の減少となった。この数字上昇傾向をたどってきた北海道内出身者の志願は初めて減少に転じた。また後述する仙台会場新設はあったものの、道外受験生の減少傾向には大勢的に歯止めはかからなかった。学科レベルにおいても人間科学科・社会情報学科の二学科を除く五学科で減少する結果となった。

平成7年度 入学試験結果 (大学院を除く)

試験区分	学科名	志願者	受験者	合格者	競争率
一般入試	商学科	2,151 (128)	2,072 (125)	323 (51)	6.4
	経済学科	2,860 (178)	2,791 (174)	538 (46)	5.2
	人間科学科	1,591 (527)	1,562 (521)	274 (127)	5.7
	英語英米文学科	626 (313)	604 (305)	199 (123)	3.0
	法律学科	1,631 (183)	1,576 (177)	439 (74)	3.6
	社会情報学科	1,999 (199)	1,908 (192)	398 (57)	4.8
一般第二期	第二部商学科	678 (24)	665 (23)	115 (2)	5.8
	商学科	228 (10)	222 (10)	36 (1)	6.2
	経済学科	173 (24)	169 (23)	96 (20)	1.8
	人間科学科	256 (16)	254 (16)	96 (10)	2.6
	英語英米文学科	207 (95)	206 (94)	72 (47)	2.9
	法律学科	60 (36)	60 (36)	33 (22)	1.8
推薦入試	社会情報学科	179 (38)	178 (37)	113 (27)	1.6
	第二部商学科	164 (20)	162 (20)	80 (10)	2.0
	商学科	92 (4)	90 (3)	44 (2)	2.0
	経済学科	2,324 (152)	2,241 (148)	419 (71)	-
	人間科学科	3,116 (194)	3,045 (190)	634 (56)	-
	英語英米文学科	1,798 (622)	1,768 (615)	346 (174)	-
総計	英語英米文学科	686 (349)	664 (341)	232 (145)	-
	法律学科	1,810 (221)	1,754 (214)	552 (101)	-
	社会情報学科	2,163 (219)	2,070 (212)	478 (67)	-
	第二部商学科	998 (38)	977 (36)	195 (5)	-
	計	12,895 (1,795)	12,519 (1,756)	2,856 (619)	-

注:①()内は女子で内数
②競争率(受験者÷合格者)

社会人入試結果

学科	志願者	受験者	合格者
人間科学科	13	11	7
第二部商学科	9	8	8
合計	22	19	15

外国人留学生試験結果

学科	志願者	受験者	合格者
商学科	2	1	0
経済学科	4	3	1
人間科学科	3	3	3
法律学科	2	2	1
社会情報学科	1	1	1
合計	12	10	6

その他特記できる事項としては、①仙台会場新設によって宮城県内一般入試受験者は前年の一・七倍、東北全体で対前年比一割近い受験者が増加した(女子については試験分析をさらに深めるとともに、等々が挙げられる。入試動向にも増して緊要の課題となっている。尚、一月の阪神・淡路大震災の発生に伴い被害等を受け

特色あり、魅力ある大学づくりを志願者で実数は減少したものの占有率は一四%、入学者数の割合では三・一%を占め、共に最高値を記録した。対前年比一割近い受験者が増加した(女子については試験分析をさらに深めるとともに、等々が挙げられる。入試動向にも増して緊要の課題となっている。尚、一月の阪神・淡路大震災の発生に伴い被害等を受け

た受験生の諸事情を考慮し、大学として特別措置を講じたことを付記する。
(平成八年度入試日程は一面参照)



公開講座 北海道文化論

日時: 8月28日(月)~9月2日(土)
13:10~16:20
場所: 本学B101教室

総合テーマ
北海道とロシア-民族と文化の交流-

- 8月28日(月) 菊池 俊彦(北海道大学文学部教授) ロシア極東と北海道の民族・文化の交流
- 8月29日(火) 秋月 俊幸(北海道大学講師) 日露交流史上の人びと
- 8月30日(水) 谷本 一之(北海道教育大学学長) 極東ロシア少数民族の芸能-アイヌの歌と踊りの系譜-
- 8月31日(木) 中村健之介(東京大学教養学部教授) 北海道へきたロシアの宗教
- 9月1日(金) 原 暉之(北海道大学スラブ研究センター教授) アレウト号からインディギルカ号まで-近現代における北海道とロシア極東の交流史から-
- 9月2日(土) アンドレイ・ペロフ(北海道地域総合研究所 外国人研究員) ロシア極東の自然と暮らしと北海道との交流

◎コメントーター 高岡健次郎

第16回 土曜公開講座

人間の生と死

多様にアプローチ

本学が、「地域に開かれた大学の理念の具体化のために、江別市大森公民館との協力をえて土曜公開講座を始めたのは、もう十五年も前のことになりました。それ以来、熱心な地域住民の方々や学生を聴講者に迎え、年毎に多くの話題や反響を増幅させながら今日に至っております。本年は第十六回目

の公開講座を開催することになりました。講師、個別テーマは別掲の通りですが、五月六日に始まる七月十五日までの十一回、毎週土曜日、午後三時から五時までの日程で行われます。

今回は人文科学部のスタッフが「人間-その生と死」という、とても大きな、しかし魅力的な課題に挑むことになりました。本学人文科学部の目標は、人間研究のまさに中心課題といえます。けれども人間の

日程	講師	テーマ
1 5/6(土)	安米 鉄男 人文学部教授 保健体育	よりよき生を考える -健康教育の視点から-
2 5/13(土)	石垣 靖子 札幌病院 副院長、看護部長	がんの痛みからの 解放と緩和ケア
3 5/20(土)	方波見康雄 農女子大学教授 生命倫理、内科	生老病死の医学
4 5/27(土)	佐倉 朔 人文学部教授 人類学	死の認識に関する 人類学的考察
5 6/3(土)	布施 晶子 人文学部教授 家族社会学	介護と看取りの社会学
6 6/10(土)	清水 信介 人文学部教授 臨床心理学	心理療法における 死と再生
7 6/17(土)	奥田 統己 人文学部講師 言語学、アイヌ語	アイヌ口頭文芸に 見る生と死
8 6/24(土)	城下 裕二 法学部助教授 刑法	「脳死」問題の 法的側面について
9 7/1(土)	宮内 陽子 人文学部教授 哲学	ゆらぐ「死」の概念 -脳死を考える-
10 7/8(土)	杉山 吉弘 人文学部教授 哲学	死の人間学
11 7/15(土)	生田 邦夫 人文学部教授 宗教学	原始仏教の死生観

生死を考えると、問題は、裾野は見渡しがたいほどに広く、これを二、三つのテーマに収めることはできません。講師がそれぞれ掲げる多様なアプローチからも、私たちは人間の生と死のありようの多様な複雑さを窺い、知ることができると、今回は問題の、いさう豊かな展開を図るために、他学部や学外の先生にも講師としてご協力いただいています。多岐に亘る分野から人間の生と死を考えたとき、この試みが、現代的な生と死の焦点の問題に光をあてることになればと願っています。

自己点検・評価 報告書を刊行

本報告書は、教育活動、研究活動、学生生活実態等内の全般にわたって、客観的に点検・評価を行ったもので、総頁は三二頁に及んでいます。

本学では、この二月に「札幌学院大学の現状と課題」自己点検・評価報告書」を発行いたしました。

近年、教育研究水準の維持・向上に対する個々の大学の姿勢が強く問われている中、この報告書が果たす役割は大きいものがあると言えます。

「第5回学生生活実態調査報告書」を発行

本報告書は、教育活動、研究活動、学生生活実態等内の全般にわたって、客観的に点検・評価を行ったもので、総頁は三二頁に及んでいます。

本学では、この二月に「札幌学院大学の現状と課題」自己点検・評価報告書」を発行いたしました。

近年、教育研究水準の維持・向上に対する個々の大学の姿勢が強く問われている中、この報告書が果たす役割は大きいものがあると言えます。

今回は学部別の学生を対象に調査を行い、三、八七三名(約八割)の回答を得る事が出来ました。調査結果の集計は本学電子計算機センターのコンピュータで単純集計とクロス集計を行い、それを基礎データとして分析し、グラフを使った見やすい報告書としました。

生死を考えると、問題は、裾野は見渡しがたいほどに広く、これを二、三つのテーマに収めることはできません。講師がそれぞれ掲げる多様なアプローチからも、私たちは人間の生と死のありようの多様な複雑さを窺い、知ることができると、今回は問題の、いさう豊かな展開を図るために、他学部や学外の先生にも講師としてご協力いただいています。多岐に亘る分野から人間の生と死を考えたとき、この試みが、現代的な生と死の焦点の問題に光をあてることになればと願っています。

全学あげて義援金活動 学生7名がボランティア 被災地の救援に活躍

阪神大震災

去る一月十七日(火)午前五時四十分頃発生した阪神大震災(兵庫県南部地震)では、五、五〇〇人以上の死者、二十万戸近くの住宅被害が出るなど戦後最大の地震災害となり、今なお避難所で不自由な生活を強いられている方が多くおられます。

本学学生の被災地出身者は、兵庫県五名、大阪府四名、兵庫県一名、父母と連絡を取り、被災状況の確認に努め

また、震災直後から、学生諸団体(学生自治会、体育会、文化会、生協組織部等)を中心に義援金活動を行い、さらに理事長、学長が発起人となり職員も義援金活動を行い、集まった義援金を日本赤十字社北海道支部を通じて被災者にお渡ししました。

被災地では多くのボランティアが活躍しており、本学からも人文学部人間科学科の山村竜彦君(二年)、川村省悟君(三年)、谷口恵美子さん(三年)、木戸康博君(三年)、藤井望君(卒業生)、商学部商

学科の中野優子さん(三年)、法学部法律学科の平泉金弥君(三年)の七名が自ら進んでボランティアに行っております。

「今行かないと、後で後悔したくなかった」という川村君は旅費をアルバイトで工面し、テレビ局に問い合わせた結果、ボランティアに誘われて紹介されたボランティア団体神戸大生震災救援隊に参加し、神戸市内の避難所に入れた人達が生活しているテント村を回ってボランティア活動を行いました。ボランティアを体験した七名は、震災から復興しようとする人々から多くの事を学び、この貴重な経験を今後の大学生活に生かしたいと話しております。

鉄道研究会 鉄道にロマン求めて

鉄道研究会は、文化系クラブの中でも歴史は浅く、部員八名という少数ながらもユニークな活動を続けています。

毎週水曜日の定例会では、部員の鉄道研究活動報告と会報「待合室」年一回発行の鉄



道機関誌の企画・編集を中心として活動を行っている。会報「待合室」には、将来の北海道新幹線の展望、廃止問題で揺れる路線の研究内容や部員の旅の話などが掲載され、本学学生のみならず、他大学の学生や一般の方にも読まれている。

夏休みにはJR発行の「青春18キップ」を利用して道内旅行を行い、列車の撮影をしながら会報発行に向けての資料収集に余念がない。

さらに、各地の鉄道記念館の見学を行うことで、鉄道の歴史や発展の知識をさらに深めている。

学内では鉄道模型発表会・鉄道ビデオ上映会などを行っており、江別市内をはじめ札幌市近郊からも熱心な鉄道ファンが見学者が訪れている。

今後は、単に自らの興味部分に留めず、地域に根ざした活動に向けて、会報を江別市内の駅に置いていただき、少しでも多くの市民に読んでもらう

こと、高砂駅や平和駅などの無人駅の清掃を部員たちで定期的に行う等の計画を立てている。

文化系サークルとして、地道ながら積極的な活動を展開していくことを今後期待したい。

鉄道模型発表会に積極的に関わり組む部員

海外レポート 英国 クランフィールドにこそ

昨年八月末にイギリスのクランフィールドに初めて七カ月になりました。あつという間に過ぎた、というのが正直な感想です。

クランフィールドはロンドンの北約70km(アンブリッジとオックスフォードのほぼ中間)のところにあります。イギリスのロウランドの田舎は羊が群れる牧場がずっと続く風景をみせてくれます。クランフィールドもまたそうした田舎の佇まい。ストラットフォード・アポン・エーボンの写真にあるような葺き屋根の家が視界から消えると、そこ

これは十勝や真狩、別海と見紛うのです。

私が世話になっているクランフィールド大学は、学部を持たない理系の割合の大きい大学院大学です。航空工学、生産工学、バイオテクノロジーなど、周囲の田園風景とは不釣り合いな感じです。キャンパスには大型旅客機の発着可能な飛行場があり、サッチャーがセツクス大学と一緒に入られた大企業です。私がスタッフの一員のクランフィールド・スクール・オブ・マネージメントはこの大学の唯一の社会科学

系は大学院になります。イギリスの経営学系大学院(ビジネス・スクール)のなかではロンドン・ビジネス・スクールと並ぶに高い評価を得ているようです。

研究室のドアには、Japanese Visiting Researcher の表札があり、宿舎はキャンパス内の一戸建ての教職員用住宅がわがわがれとかなり良い条件。札幌学院大学も客員を受け入れられる条件を整えておくべきだと切実に感じています。ファカルティ・ミーティングは六カ月に一回開かれます。ディレクターの

CG作品コンペティションで努力賞
社会情報学部の3学生

平成六年十一月二十二日と二十三日の両日に札幌パークホテルで開催されたSapporo Multimedia & CG94(北海道CG協会・札幌市・札幌エレ

マリ教授とスタッフが収入構成や経営戦略をどうすべきかを巡って議論する姿は昔目の明和学園のようでもあり、懐かしもありです。でも垢抜けているよう、は乾足

不慣れな外国生活は、子供の病院のコンタクトで、ラン

ウツ寸前の子供の薬に気も薄らだつた日々、そして慣れない車の運転、と思わぬ時間をとられた気がします。ここに来てようやく研究も軌道に乗りそう、好意で受け入れてくれる調査対象企業も持っています。それにしても一年は短いようです。

クロニクスセンター等の主催の作品コンペティションにおいて、本学社会情報学部の青山宏子さん・村岡麻子さん・千葉真也君が平成六年度皆川卒研の三名の合格が初出品にもかかわらず、多くの応募作品の中から「努力賞」に入賞しました。

作品は「FLOWER」と題名が付けられた十ページの絵本で、バラードという星に住むわらわらという名の少女と他の星から来たフラという名の子供が主人公として登場します。この物語では互いに見知らぬ二人の対話のなかで嬉しさ・優しさ・悲しみなどの人間的な感情の動きを「花」を媒介として読者に問いかけています。構構が固まるまでに一年ほどかかり、その間にいろいろキャラクターが生まれては消えていきました。この作品はすべてマッキントッシュ

のペイントソフトを使って描かれています。絵筆をマウスに替えてその作業に当初は思ったように絵を描くことが出来ず、多少の困難と苛立ちを伴いましたが、次第に操作技術も向上し、細かな色調整なども自在に出来るようになりました。

賞状と作品を手を受賞を喜び(左から)村岡さん、青山さん、千葉君

三名は夏休みを返上して本格的な作業に取り組み、十一月には無事作品を完成させて出品にぎや今回の受賞となりました。学生時代の良い思い出となることでしょう。在学生諸君のチャレンジを期待します。



念願の初出場となった全日本学生ホッケー選手権大会(昨年11月)

さらに、全日本学生ホッケー選手権大会北海道予選会で準優勝を挙げ、念願の全国大会出場権を獲得し、十一月に東京で行われた全日本学生ホッケー選手権大会に初出場した。試合は初戦で同志社大学と対戦し、善戦も及ばず全国大会の壁の厚さを思い知らされる結果となった。

今年は、試合で個人技に頼ってしまおうと点を反省し、チームワーク作りを目標に、パスワークとスピードを重視したプレーへの切り替えを行い、様々なコンビネーションプレーを練習している。

また、以前から課題であった体力不足を補うために、今年例年の倍以上の走り込みを行うを意欲満々である。昨年の全国大会初出場により、全国のトップレベルの大学と実際にプレーできた事が部員たちの大きな自信となっている。

「目標は、全道優勝と全国大会ベスト8です」と話すホッケー部の今年の活躍に期待したい。

今年で創部十一年目を迎えたホッケー部は部員十八名となり、公募制B(スポーツに優れた者の特別推薦)で入学した部員が十六名と大半を占め、実力のある部員の入部に加え、学外監督の佐々木英二氏の指導により急速に力をつけてきている。

昨年の北海道学生春季リーグ戦では、東京農業大学(網走)に破れたものの、宿敵の札幌大学を破り、準優勝の成績を取った。



ヒューマン・リソース研究センター長タイソン教授主催の、帝京平成大学天谷教授、新潟大学山ノ内教授、オカザキ・ワード上級研究員との晩餐会のスナップ。写真右が筆者。ロンドンの日本料理店「將軍」にて

ご案内

<p>帯広市民講座 - 講演と音楽の夕べ - 大学院(法学研究科)開設記念</p> <p>◆日時 平成7年9月2日(土) 午後5時30分開場・午後6時開演</p> <p>◆会場 帯広市民文化ホール(帯広市西5条南11丁目48-2)</p> <p>◆講演 「未定」</p> <p>◆講師 小林好和(札幌学院大学文学部教授)</p> <p>◆音楽 「フルート・チェロ・ピアノのトリオ」フルート=西田直孝 チェロ=土田英順 ピアノ=山下由莉子</p> <p>◆曲目 ハイドン トリオ第29番 長調 作品62. ウェーバー トリオ短調 作品63.</p>	<p>第19回学術講演会 - 講演と音楽の夕べ - 大学院(法学研究科)開設記念</p> <p>◆日時 平成7年10月6日(金) 午後6時開場・午後6時30分開演</p> <p>◆会場 共済ホール(札幌市中央区北4条西1丁目)</p> <p>◆講演 「未定」</p> <p>◆講師 波部保夫(札幌学院大学法学部教授)</p> <p>◆音楽 「フルート・チェロ・ピアノのトリオ」フルート=西田直孝 チェロ=土田英順 ピアノ=山下由莉子</p> <p>◆曲目 ハイドン トリオ第29番 長調 作品62. ウェーバー トリオ短調 作品63.</p>
--	--